

- 問1 平安時代初期、遣唐使の一員として唐に渡った僧が、帰国後に京都の比叡山に延暦寺を建立し、政治の混乱を鎮めることを目指して新しい仏教を広めた。この人物は誰か。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 空海 2. 蘭溪道隆 3. 鑑真 4. 最澄
- 問2 平安時代中期、貴族の政治が摂関政治へと移り変わり、日本の風土や日本人の感性に合わせた文化が発達した時期の記述として、正しいものを次から選りなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 日蓮が法華經の題目を唱えることを説き、鎌倉時代の武士や民衆の間に信仰が広がった。 2. 鑑真が日本に渡り、正しい仏教の戒律を伝えたことで、奈良の仏教が発展した。 3. 聖武天皇の命により、仏教の力で国を治めるために国分寺や国分尼寺が全国に建てられた。 4. 阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まった。
- 問3 「源氏物語絵巻」などの絵巻物には、当時の貴族の生活風景とともにその邸宅の様子が詳しく描かれています。これらの資料に見られる、平安時代の建築様式について述べた文として正しいものはどれか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 床の間や違い棚、畳を敷き詰めた部屋を特徴とする書院造が、貴族の日常生活の場となった。 2. 仏教の影響を強く受け、左右対称の伽藍配置を持つ寺院のような居住空間が一般的であった。 3. 自然との調和を重視し、池や庭園を眺められるよう建物が廊下で結ばれた寝殿造が用いられた。 4. 防御機能を重視し、高い堀や堀で囲まれた質素で堅固な武家屋敷の構造を取り入れた。
- 問4 平安時代後期、東北地方の平泉を拠点として三代にわたり栄え、極楽浄土をこの世に表そうと金箔で覆われた中尊寺金色堂を建立した一族を選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 奥州藤原氏 2. 北条氏 3. 足利氏 4. 桓武平氏
- 問5 平安時代後期、白河天皇が幼い天皇に位を譲ったあとも「上皇」として引き続き政治の実権を握り、藤原氏による摂政や関白の力を抑えようとした政治形態を何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 院政 2. 親政 3. 摂関政治 4. 武家政治
- 問6 11世紀後半、藤原氏による摂関政治を抑えるため、天皇が位を譲って退位したあとも「上皇」として実権を握り、自ら政治を行う仕組みが始まりました。この政治体制の名称と、これを最初に始めた人物の組み合わせとして正しいものを、次の中から選りなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 「院政」を行い始めた「後醍醐天皇」 2. 「新政」を執り行った「白河上皇」 3. 「摂関政治」を確立させた「藤原道長」 4. 「院政」を行い始めた「白河上皇」
- 問7 平安時代、それまでの大陸文化の影響を強く受けた文化から、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達した背景として、最も適切な説明はどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと 2. 平清盛によって日宋貿易が盛んになり、宋の新しい文化が庶民にまで広まったこと 3. 足利義満が金閣を建てたことで、公家文化と武家文化が融合し始めたこと 4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教とともに、ヨーロッパの新しい知識が伝わったこと
- 問8 保元の乱から平治の乱へと続く一連の動乱が、日本の支配構造に与えた影響を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 公家と武士の融和が進んだ結果、武家諸法度が制定されて武士の行動が厳格に制限されるようになった。 2. 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。 3. 天皇の権限が絶対的なものとなり、院政が廃止されて武士は再び地方の警護を専門とする役職に戻った。 4. 全国に守護と地頭が設置されることで、地方武士が守護大名として独立し、幕府を介さない政治が行われた。
- 問9 池の対岸から望むと左右対称の翼廊を持つ優美な姿が確認でき、当時の浄土信仰を象徴する平等院鳳凰堂が建立された時期は、藤原氏による政治が全盛期を迎えていました。その後、この藤原氏のような摂関家の影響力を排除するために白河天皇がとった行動として、適切な記述を選りなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 鎌倉に幕府を開き、武士の頂点に立って全国を統治した。 2. 京都に六波羅探題を設置して、朝廷の動きを厳しく監視した。 3. 天皇の位を譲り上皇となって、自ら政治の決定権を行使し続けた。 4. 大宝律令を制定し、公地公民の原則に基づいた中央集権体制を確立した。
- 問10 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として東北地方に独自の勢力を築いた一族が、その豊富な経済力を示すために建立した代表的な建造物はどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 鹿苑寺金閣 2. 平等院鳳凰堂 3. 中尊寺金色堂 4. 東大寺大仏殿
- 問11 10世紀頃、朝廷が地方の統治を国司に委ね、その権限を強化せざるを得なくなった背景として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を制限し、特定の有力者による貿易の独占を防ぐ必要があったため。 2. 大陸からの侵攻に備えるため、地方の防衛体制を早急に整える必要があったため。 3. 武士団の反乱が各地で相次ぎ、軍事的な指揮権を現地の役人に一本化する必要があったため。 4. 戸籍による民衆の把握が困難になり、土地を単位として課税する仕組みへ移行する必要があったため。
- 問12 平清盛は、武士として初めて政治の実権を握る際、藤原氏が用いた「摂関政治」の仕組みを模倣しました。平清盛が自身の権力基盤を固めるために行った具体的な行動として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 自らが上皇となり、摂政や関白を介さずに直接政治を行う「院政」を開始した。 2. 娘の徳子を高倉天皇の后とし、その間に生まれた安德天皇を即位させて外戚となった。 3. 武力によって京都の朝廷を完全に解体し、鎌倉に独自の政治拠点（幕府）を開いた。 4. 遣唐使の派遣を継続し、唐の進んだ政治制度を取り入れることで中央集権化を進めた。
- 問13 894年、唐の衰退や往復する航路の危険性を理由に、遣唐使の派遣を停止するよう宇多天皇に建議した人物は誰ですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 小野妹子 2. 藤原道長 3. 菅原道真 4. 阿倍仲麻呂
- 問14 平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇のきさき（妃）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚（外戚）として朝廷の権力を独占しました。このような政治形態を何と呼びますか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 院政 2. 摂関政治 3. 親政 4. 執権政治

答え合わせ・解説

問1	答え 4 最澄	桓武天皇による平安京への遷都後、それまでの奈良の仏教勢力の影響を避けるため、新しい政治体制を支える仏教が求められました。最澄は遣唐使として唐へ渡り、天台宗とともに密教の教えを日本へ伝え、比叡山を拠点に国家を支える人材の育成に努めました。
問2	答え 4 阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変われることを願う浄土信仰が広まった。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土に合わせた「国風文化」が発展しました。この時期、現世の不安から逃れ、死後に「極楽浄土」へ行くことを願う浄土信仰が貴族や庶民の間に浸透しました。国分寺の建立や鑑真の来日は奈良時代、日蓮の活動は鎌倉時代の出来事であるため、時期が異なります。
問3	答え 3 自然との調和を重視し、池や庭園を眺められるよう建物が廊下で結ばれた寝殿造が用いられた。	「源氏物語絵巻」には、平安時代の貴族の住まいであった寝殿造の内部や庭園の様子が描かれています。寝殿造は、壁が少なく開放的な構造をしており、四季折々の自然を楽しむために池や庭園と一体化した空間作りがなされていました。一方で、畳や床の間が特徴の書院造は、後の室町時代以降に発達した様式です。
問4	答え 1 奥州藤原氏	東北地方の平泉は、清衡、基衡、秀衡の三代にわたって独自の仏教文化が花開いた場所です。奥州藤原氏は、度重なる戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏の力による平和な理想郷を築くことを目指して中尊寺金色堂を建立しました。
問5	答え 1 院政	1086年に白河天皇が始めた政治の仕組みです。天皇が退位して上皇（太上天皇）となり、天皇家の家長として政治を主導することで、それまで権勢を振るっていた藤原氏（摂関家）の影響力を排除する目的がありました。この体制はその後、鳥羽上皇や後白河上皇へと受け継がれました。
問6	答え 4 「院政」を行い始めた「白河上皇」	摂関政治によって強まった藤原氏の影響力を退け、実権を皇室に取り戻すために始まったのが院政です。1086年に白河天皇が位を譲って白河上皇となり、天皇の住まい（内裏）とは別の「院」と呼ばれる場所で政治を主導しました。後醍醐天皇は鎌倉時代末期に天皇親政を目指して建武の新政を行った人物であり、時代や政治形態が異なります。
問7	答え 1 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、それまで盛んだった中国（唐）の文化を日本の風土や感性に消化・吸収させる動きが強まりました。これにより、貴族を中心とした日本独自の「国風文化」が成立しました。
問8	答え 2 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。	保元の乱において源氏や平氏の武士が活躍したことで、それまで貴族の「奉公人」的な立場であった武士の地位が劇的に向上しました。この乱の結果、武士は単なる兵力ではなく政治を動かす主体となり、平清盛が太政大臣に就任するなど、武家が政治の表舞台に立つ「武家政権」の時代を切り拓くことになりました。
問9	答え 3 天皇の位を譲り上皇となって、自ら政治の決定権を行使し続けた。	平等院鳳凰堂を建立した藤原頼通の時代には摂関政治がピークにありましたが、その後の白河天皇は、自らが上皇となることで摂関家から政治の実権を奪い返しました。これを院政と呼び、平安時代末期まで続く政治形態の転換点となりました。
問10	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、陸奥国（現在の東北地方）で産出される金や馬を背景に莫大な富を蓄えました。初代の藤原清衡は、度重なる戦乱で亡くなった人々を供養し、仏教による平和な理想郷を築くために平泉を拠点としました。その象徴である中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った豪華な造りであり、当時の東北地方における高度な技術と繁栄を現在に伝えています。
問11	答え 4 戸籍による民衆の把握が困難になり、土地を単位として課税する仕組みへ移行する必要があったため。	それまでの律令制では、戸籍をもとに人々に公地を割り当てる班田収授法がとられていましたが、浮浪や逃亡によって人々の把握が困難になりました。そのため、政府は人ではなく「名（みょう）」と呼ばれる土地を単位として課税する方式に切り替え、その運営と徴税の責任を国司に全面的に任せることで、税収を確保しようとした。
問12	答え 2 娘の徳子を高倉天皇の後とし、その間に生まれた安德天皇を即位させて外戚となった。	平清盛は武士として台頭しましたが、政治手法は藤原氏と同様に、天皇との親戚関係（外戚関係）を利用するものでした。当時の系図によれば、清盛の娘である徳子（建礼門院）が高倉天皇の後となり、その間に生まれた安德天皇を即位させることで、清盛は天皇の祖父として実権を握りました。これは武力による支配だけでなく、朝廷内の伝統的な権威を継承したことを意味します。
問13	答え 3 菅原道真	当時の唐は国内が乱れており、命をかけて使節を送る利益が少ないと判断されました。この人物の建議によって遣唐使の派遣が停止されたことで、日本独自の文化である国風文化が発展する大きな要因となりました。選択肢の小野妹子は飛鳥時代の遣隋使、阿倍仲麻呂は奈良時代の遣唐使として活躍した人物です。
問14	答え 2 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少の間に政治を代行する「摂政」や、成人した天皇を補佐する「関白」の職を代々独占しました。この政治体制は、武力によって権力を奪うのではなく、天皇との血縁関係を深めることで実権を握るという特徴があります。藤原道長や藤原頼通の時代に全盛期を迎えました。